

**A 教育センター所長** 基礎・基本の部分での個別の指導のため、学習支援員の配置や放課後のびのび算数教室をこれまでどおり推進する。また、下位層の底上げをするアドバンスド事業も引き続き行う。学力向上推進委員会の委員を中心に小学校5年生の学力下位層に向けた添削ドリルを作成し、各学校でこれに取り組んでいる。28年度も事業を継続し、さらに、対象児童の拡大を各学校で検討していきたい。

**教育相談・いじめ防止対策事業**

**Q 小・中学校や教育センターへの相談員等の配置は。**

**A 教育センター所長** 教育センターに小学校巡回相談員、中学校巡回相談員及び臨床心理士を配置している。また、心のオアシスづくり事業で、中学校にさわやか相談員の配置もしている。さらに、県から配属されたスクールカウンセラー及びスクールソーシャルワーカーも相談活動を行っている。

**小学校校務情報化推進事業  
中学校校務情報化推進事業**

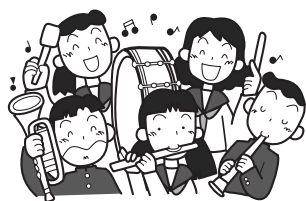
**Q 小・中学校の教職員へのパソコンの設置状況は。また、パソコンの電源工事完了後は、何台入れるのか。**

**A 学校教育課長** 現在は各校に10台の校務用パソコンを設置しており、学年に1台などと工夫して使用している。しかし、1人が使用すると、別の教職員は待ち時間が生じるなどの課題がある。工事後は、教職員1人に1台のパソコンの設置を想定している。

**笑顔あふれる活動応援事業  
がんばる部活動応援事業**

**Q 各小・中学校からの備品購入の要望に対する優先順位の基準は。**

**A 学校教育課長** 各学校から提出された資料をもとに管理職にヒアリングを行い、決定した。地域に還元できるような活動か、学校として特に力を入れたい部活動か、子どもたちや地域の方々の笑顔に結びつくような活動かなどといった視点で検討を行う。現段階では明確な基準を示せないが、貴重なふるさと納税を活用する事業であり、説明責任を果たせるよう十分に検討を行いたい。



**特別会計予算 ( ) は、前年度予算額**

国民健康保険	87億3324万円 (86億9783万円)
後期高齢者医療	5億9087万円 (5億2972万円)
介護保険	37億5530万円 (32億9760万円)

一本松土地区画 整理事業	3億8385万円 (3億2038万円)
若葉駅西口土地 区画整理事業	3億4614万円 (3億1431万円)

**一本松土地区画整理事業**

**Q 31年度末に事業を完了するための方法は。**

**A 区画整理課長** 進捗を図るため、29年度に集団による移転や仮換地の変更などを検討し、完了を目指す。

**若葉駅西口土地区画整理事業**

建物等の移転に要する経費及び道路等の整備に要する経費を中心に計上され、前年度比3182万5000円、10・1割の増となります。

**国民健康保険**

**Q 生活習慣病の重症化の予防に向けた取組は。**

**A 保険年金課長** 糖尿病の悪化により人工透析に至る方が、埼玉県でも10年で2倍を超えている。本人も気付きにくいのが、重症化は本人にとって不幸であり、保険財政にとっても負担が大きい。重症化を未然に防ぐため、新規事業を設定した。

**後期高齢者医療**

**Q 低所得の高齢者に医療を受ける権利は保障されるか。**

**A 保険年金課長** 年金受給額が年18万円以上の方は保険料が特別徴収となる。低所得者の場合の9割の軽減措置が行われているが、一定の所得がないと医療を受ける権利がないという厳しい現実を認識している。

**介護保険**

**Q 新規の介護予防・生活支援サービス事業でどう変わるか。**

**A 高齢者福祉課長** 介護予防・生活支援サービス事業費は、介護予防サービス費であった要支援1、2の認定者の介護予防訪問介護と介護予防通所介護が移行された部分が大きなるものである。緩和した基準によるサービスについては、まだ希望する事業所が無い。

